



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

自ら学ぶ子
だれとでも仲よくする子
進んできたえる子
人とのかかわりを大切にする子

学ぶ楽しさ

校長 石黒 真愁子

満開の桜に彩られた始業式、入学式から、もう1ヶ月が経過しようとしています。大門小学校の校庭の木々たちも新芽を伸ばし、緑鮮やかな、美しい季節を迎えました。

5月6日は本校の開校記念日です。明治6年に創立され、今年で144年目を迎えます。開校以来144年間、本校児童は地域の皆様に温かく見守られ、地域の中で大切に育まれてきたことを実感しております。保護者・地域の方々の思いや願いをしっかりと受け止め、子どもたちの健やかな成長のため本年度も教育活動を展開してまいりたいと存じます。何卒よろしくごお願い申し上げます。

1年生や、新設された「なかよし学級」の子どもたちも少しずつ大門小学校での生活のリズムに慣れ、新しい友達と仲良く元気に過ごしている姿が見られます。

また、6年生は最高学年としての自覚のもと通学班、委員会活動、クラブ活動などで頼れるリーダーとして力を発揮しています。4月21日には、「1年生を迎える会」が行われました。最高学年の6年生に手をつながれて入場してきた1年生を、2年生から5年生までが拍手で迎えました。その後、ゲームなどの楽しい歓迎の企画が行われ、体育館が、優しさとあたたかい空気で包まれました。

さて、5月以降は授業に加えて、年間を通じて、自然の教室や社会科見学など幅広く学ぶ機会が増えていきます。「どうして人はお勉強するの?」という声が子どもたちから時々聞こえてきます。学ぶということは、将来の選択肢を広げていくことだと考えます。子どもたちには、ぜひ、学ぶことを楽しんでほしいと願っています。人は何かを知りたい、分かってほしいという気持ちを生まれながらにもち、いくつになってもその気持ちは衰えないものです。無限の可能性を秘めた子どもたちにとっては、将来何が必要になるかは分かりません。社会が、多くの職業人によって成り立っている中、将来子どもたちは、どんな形で社会の一翼を担っていくのでしょうか。多くのことを学ぶということは、つまり自分の人生を選択する多くの選択肢を得るということです。本校のめざす児童像の一つである、「自ら学ぶ子」の育成のため、「わかった」「できた」喜びを実感できるよりよい授業の構築に向け、本校の職員も切磋琢磨し、努力してまいります。ご家庭におかれましても、学習習慣の確立に向け、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年度、本校は、さいたま市教育委員会の教育課程（算数）の研究推進校として、「主体的に考え、表現できる子の育成」を主題とし、研究を進めてまいります。平成28年10月12日（水）には、研究発表会を行います。日々、研究の取組を推進し、子どもたちの学ぶ楽しさを充実させてまいりたいと存じます。